

ヒアリング意見のまとめ及び今後の対応策

主要課題		ヒアリング意見 ■…課題 ○…解決の方向性	今後の対応策（案）
①まちづくりの担い手（組織・人材）を育てる仕組みが必要	人材の育成・確保	<p>■団体の将来を担うリーダーを育てたい</p> <p>①活動の推進を中心的に担うキーマンがいない</p> <p>■特定の能力を持った人材が必要</p> <p>①現状分析、企画立案能力のある人材が少ない</p> <p>②パソコン操作、事務処理能力を持った人材が不足している</p> <p>○今いる人材を育てる</p> <p>①人材養成講座を開催してもらいたい</p> <p>○新たな人材を確保する</p> <p>①県大には団体へのインターン制度があり、ボランティアでの支援が得られる</p> <p>②全国的な組織と協力することで人材や広報面での協力を得ている団体がある</p> <p>○外部との協力により補完する</p> <p>①団体どうしが協力して事業を実施することでマンパワーを補うことができるのではないか</p> <p>②人材やノウハウ提供などの面で協力できることもある</p> <p>③町内会と連携して、防災訓練を共同で実施したり、広報の協力を得ている団体もある</p> <p>④活動団体は、町内会と性格が異なるため、補いあうことができる</p>	<p>★協働を支える人材の養成講座等の開催</p> <p>・まちづくり活動を支える、リーダーの育成及び組織に必要とされる技能の習得を目的とした研修・講座を開催する</p> <p>★人材バンクの構築・活用</p> <p>・三原市に眠る、様々な特技や職業経験を持つ人材を発掘し、まちづくりへの参画を促すための仕組みとして人材バンクの構築、活用を行う</p>
	組織の活性化（活動資金の確保、組織運営に対する助言）	<p>■資金が足りない</p> <p>①会費を集めているが、会員減少に伴い活動資金が足りない(人件費、講師謝金、広報費、会場費、家賃など)</p> <p>○補助金を確保する</p> <p>①市だけでなく、国や民間の補助事業を活用している団体もある</p> <p>○自主財源を確保する</p> <p>①物販、イベント開催により自主財源を確保している団体がある</p> <p>②寄付金を集めて自主財源を確保している団体がある</p> <p>■事務手続きが手間</p> <p>①予算申請書の事務手続きが煩雑</p> <p>②届け出の必要な許認可などが把握しきれず、また申請の手間も大きい</p> <p>■会員の意識を高めたい</p> <p>①会員のモチベーションが低い</p> <p>②団体の目標、意義が整理されておらず、会員の意識が高まっていない</p> <p>○活動の活性化に向けたアドバイザーを置く</p> <p>①「団体の目的を明確化する」など組織運営、活性化にむけたアドバイスを受けられる体制があると良い</p> <p>②各種助成金の情報を提供してくれるアドバイザーを設置してはどうか</p> <p>③各種手続きの支援機関を置いてはどうか</p> <p>○団体の目的意識を明確にする</p> <p>①「団体の目的」を見直し、会員の共通認識として徹底することが必要</p> <p>②活動の目的意識内容が明確であることが重要で、そのことが住民組織と協働が進む要因となる</p>	<p>★協働事業提案制度の充実</p> <p>・市民活動団体や住民組織の提案に基づいた協働事業により、企画段階からの市民参画と市民活動・地域活動の活性化を推進する</p> <p>★中間支援組織による活動支援の充実</p> <p>・ボランティア・市民活動サポートセンターを活動団体の活性化に向けた一元的な相談窓口として、機能を拡充させる</p> <p>・許認可申請の支援、各種助成金情報の情報提供、申請支援を行う</p> <p>・市民活動団体、地縁組織の活動状況を把握し、組織運営、活性化に関するアドバイスを行う</p>
	市民の協働事業への参加促進	<p>■市民意識が低い</p> <p>①市民活動に対する認知度・関心度が低いように思う</p> <p>②「市民主導」によるまちづくりを推進していくべき</p> <p>○市民意識を高める</p> <p>①NPOなどの活動に対する理解を得ることが、参加意欲につながるのではないか</p>	<p>★市民意識・市民参加を高めるため行事の開催</p> <p>・市民がやりがいをもって参加できるまちづくり活動に参加・体験できる仕組みの構築</p>

主要課題		ヒアリング意見 ■…課題 ○…解決の方向性	必要な取組み（案）
②多様な主体の連携が必要	各主体の課題共有・連携強化	<p>■ 団体どうして情報を共有する場がない</p> <p>① 類似する課題を抱えていても、情報共有ができていない（それぞれの団体で課題を抱え込んでいる）</p> <p>② 同じテーマの活動でも、他団体と連携する機会がない</p> <p>③ 以前に団体交流の場を設けていたが、会の目的が明確でなかったため参加者が減少した</p> <p>○ 三原市の団体が情報共有する場を設ける</p> <p>① 活動団体、住民組織（町内会等）、行政部署が集い、ざっくばらんに交流・情報共有できる場があると良い</p> <p>② 子育て分野では、団体、行政、市民が集う『子育てミーティング』が実施されている</p> <p>○ 外部との協力により補完する</p> <p>① 団体どうしが協力して事業を実施することでマンパワーを補うことができるのではないか</p> <p>② 人材やノウハウ提供などの面で協力できることもある</p> <p>③ 町内会と連携して、防災訓練を共同で実施したり、広報の協力を得ている団体もある</p> <p>④ 活動団体は、町内会と性格が違うため、補いあうことができる</p>	<p>★ まちづくりプラットフォームの開催</p> <p>・ 分野ごとに、団体の取組みを共有し、ざっくばらんな意見交換のできる場を設ける</p> <p>例：「環境」「防災」「子育て」など</p> <p>★ 中間支援組織による協働のコーディネート機能の充実</p> <p>・ 市民活動団体、地縁組織の活動状況を把握し、組織運営、活性化に関するアドバイス、許認可申請の支援や団体の連携促進などの役割を担う</p>
	広報・PRの充実	<p>■ 会員が増えない</p> <p>① 会場設営などを担う、体力のある会員が不足している</p> <p>② 会員が減少し、ノウハウ経験をもった人材が不足している</p> <p>■ 効果的な広報・PRをしたい</p> <p>① 会員を集めたい</p> <p>② イベント参加者を集めたい</p> <p>③ 「つなごうネット」は、改善点が多い</p> <p>○ 市の協力を得る</p> <p>① 市の広報はPR効果が高く、より活用できる可能性がある</p> <p>② 「つなごうネット」は、使用者のニーズを反映すべき</p>	<p>★ 市民協働ホームページの充実</p> <p>・ 活動団体等の情報、市のまちづくりや協働事業の情報などが集約された「つなごうネット」を、使用者ニーズに沿って改善し、市民協働の総合的な情報ネットワークとして活用を図る</p> <p>★ 広報紙、ケーブルテレビ等の活用</p> <p>・ 市民協働のまちづくりに関する様々な情報をできるだけ多くの市民に提供するため、既存媒体を積極的に活用し発信する</p>
③協働を推進する体制の整備が必要	協働の推進体制整備	<p>■ 行政との連携が足りない</p> <p>① 行政側と話し合う機会がない</p> <p>② 担当課とは連携しているが、関係する課との連携はない</p> <p>③ 担当課が分かりにくい</p> <p>■ 役割分担が明確でない</p> <p>① 市民協働事業提案制度は、公益的な事業でも3年間の期限としており、終了後が課題</p> <p>② 行政との役割分担ができていない</p> <p>■ 現制度に改善点を感じる</p> <p>① 市の助成は3年を期限としており、その後の活動資金の確保が困難（公共的な事業は「自立した運営」、「自主財源」にマッチしない）</p>	<p>★ 団体と市による協働可能性の検討</p> <p>・ 公益的かつ重要度の高い事業は、団体の自主財源による自立的な活動が困難であることが予測されるため、市と活動団体の役割分担を協議する場を設ける</p> <p>例：「子育て」「福祉」などの分野</p> <p>★ 団体の提言等を市政に反映させる仕組みの構築</p> <p>・ 団体の抱える課題に即して市政やまちづくりへの提言・提案ができるよう、課題聴取・対応策検討の機会を設ける</p> <p>例：「提案型協働事業の改善点」「会員のモチベーション向上」、「効果的な情報発信」、「交付金のあり方」など</p> <p>★ 中間支援組織による活動支援の充実（再掲）</p>